

シンポジウム

「芸大移転」と「高瀬川」

2018年
1/27(土)
13時30分より

元崇仁小学校
1階ふれあいルーム

主催：崇仁高瀬川保勝会

京都市立芸術大学の新しいキャンパスを設計する上で、高瀬川はきわめて重要です。

慶長十九（一六一四）年に角倉了以・素庵父子によって、京都く伏見間に開削された高瀬川は、地域の暮らしとも深く結びつきながら、たびたびその流れを変えてきました。

高瀬川の歴史を掘りおこしながら、京都芸大と地域の未来の姿を考え、議論します。

発表者

- ・近藤章子氏（公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所調査員）
- ・京都芸大設計チーム
- ・山内政夫氏（崇仁高瀬川保勝会会長）

協力：NPO法人京都景観フォーラム

問合せ先：柳原銀行記念資料館

tel. 075-371-0295



背景写真↑一〇〇年ぶりに現れた高瀬川（七条河原町道西一筋下る材木町 南から北を望む）*



京都芸大新キャンパス模型（提案時点のもの）

高瀬川流路の変遷 (柳原銀行記念資料館による調査から)

